

アハウス山科

だより

2025

12

Vol.322

メリー
クリスマス



「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします

施設の様子



『ご寄付を 賜りました』



京都青果協会様より、
『みかんのご寄付』を。

朱常分店様より、
『バナナのご寄付』
を賜りました。

当施設の運営にご賛同とご寄付をいただき、誠にありがとうございます。頂戴したご支援は、入居者様のお食事等に提供させていただきました。重ねてお礼申し上げますとともに、今後ともお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

12月3日(水)

『クリスマスツリー飾り付け』

施設玄関ロビーに、ゆうに2メートルを超える大きなツリーが登場！

施設内が一気にクリスマスモードに 🎅

職員が「組み立て」や「電飾」を巻き付けていると、やがて数人の入居者さんも集まり、「オーナメント」を飾るお手伝いをいただきました！



Pickup 『柚子(ゆず)湯』



冬至は一年のうちで、もっとも夜が長く昼間が短い時期。この日を境に日照時間は段々と長くなっていきます。

そんな冬至に行われる風習のひとつが「柚子(ゆず)湯」です。柚子(ゆず)＝「融通がきく」、冬至＝「湯治(とうじ)」。

こうした語呂合せから、冬至の日に柚子湯に入ると言われています。

ケアハウス山科でも、「ゆず湯」をご準備いたします。

ぜひ、ゆずの香りと暖かいお風呂をお楽しみください。

『災害訓練』

11月23日(日)【消防避難訓練／災害時トイレ訓練】

12月 5日(金)【災害発生時食事訓練】

災害発生時を想定した訓練を実施いたしました。

23日は火災発生時の避難訓練とともに、災害発生時に必要となるポータブルトイレの使用方法と注意点等をお伝えする訓練を実施。

5日は『大規模災害が発生し職員の多くが自宅で被災する』という想定のもと、昼食時に施設備蓄食品をご準備し、ご自身で調理して食べていただくという訓練内容となりました。

これらの訓練はBCP(事業継続計画)に基づき、地震や感染症などの緊急事態が発生しても、重要業務を中断させない、または中断しても早期に復旧させるための大切な訓練内容となります。



災害はいつ起こるか誰にもわかりません。そして、誰がいつ被災してしまうかも同様にわかりません。皆様の大切な命を守るために、入居者同士【声を掛け合い、助け合い、理解し合う】そういったことをしていただくことが大切になることをお伝えした、そんな訓練となりました。



- ◆12/3（水）『クリスマスツリー飾り付け』
- ◆12/24（水）『クリスマス会』
- ◆12/25（木）『クリスマス行事食』
- ◆12/25（木）『衛生点検』
- ◆12/28（日）『誕生者を祝う会』
- ◆『居室・共用部のガラス窓清掃』
業者による居室・共用部のガラス窓清掃



- ◆1/1（木）元日／行事食
昼食のお時間を通常より延長してご提供
《1部》11時30分～12時15分
《2部》12時20分～13時05分
- ◆1/2（金）映画会 ◆1/3（土）うたおう会
- ◆1月『消防設備点検』
- ◆1月『運営懇談会』2階入居者様
- ◆1月『誕生者を祝う会』

施設からのお知らせ

- ◆早いもので今年も残すところあとわずかとなりました。
無事に年末を迎えることができたのも、日頃からの皆様の温かいご支援を頂けた賜物と感謝の念に尽きません。
また、ご家族様におかれましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
これからも「ケアハウス山科」に住んでよかったと思って頂けるよう、職員一同誠心誠意努めて参ります。引き続きご支援賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

現在コロナウイルスに引き続き、例年とは少し異なる形でインフルエンザが流行しております。くれぐれもお身体には、ご自愛いただきつつ、皆様が穏やかな新年を迎えられますよう、お祈り申し上げます。
- ◆『年末年始入浴のお知らせ』12/31（水）～1/4（日）の期間は、通常の時間の通り入浴していただけます。



12/24（水）『クリスマス会』・12/25（木）『クリスマス行事食（選択食）』



入居者の皆様に、クリスマスの雰囲気をつぶり味わっていただけるように、催しやお食事をご準備いたします。ぜひ、お楽しみください♪



SNSで魅力発信中！
ぜひ覗いてみてください



公式LINE



Instagram



ホームページ

皆様こんにちは。栄養士です。

地元の富士山も 10 月 23 日に初冠雪があり、綺麗な雪化粧の富士山となりました。早いもので、今年もあと少し。振り返ってみると、今年一年も色々ありましたね！

- 1 月…なにがあったかなあ
- 2 月…なにがあったような気がする
- 3 月…なにがあったのだろう
- 4 月と 5 月…思い出せないよ
- 6 月…関西万博が始まったなあ
- 7 月？ 8 月？ 9 月？…暑かったなあ
- 10 月…関西万博終わったなあ
- 11 月…熊の目撃情報のニュースが多かったなあ



うーん…一年を振り返るつもりが半年も思い出せない…
みなさんも今年一年を振り返ってみてくださいね～

日々是好日

コラム



昭和 100 年を振り返る ～日本を変えた時代～

2025 年…つまり今年は昭和元年からちょうど 100 年目にあたります。戦争から戦後の復興、高度経済成長、バブル経済など昭和は激動の時代でした。現在では国民の約 7 割が昭和生まれ、約 3 割が平成以降の生まれとなり、昭和を知らない世代も増えています。**【1926 年 12 月 25 日】**この日から昭和が始まりました。

激動の昭和を振り返ると、そのあゆみには大きな節目があります。困難を乗り越え、創意工夫を繰り返し、よりよい明日へとつなげてきました。貧しさの中にも、明るく、たくましく、人々は未来を信じて強く生き抜いてきた…そんな印象を持ちます。

昭和を振り返る時、多くの人には「懐かしい」と口にされます。豆腐屋のラッパの音、駄菓子屋に集まる子どもたちの声、家族そろって出かけたデパートでの一日。テレビからは、王や長嶋、力道山の雄姿。ひばりや九ちゃんの歌声に酔いしれ、やがて新御三家や花の中三トリオと華やかなアイドルたち。男の子は月光仮面や仮面ライダーに夢中になり、歌声喫茶やジャズ喫茶、インベーダーゲーム。夜の街に明かりが灯るのは屋台ぐらいいで、夜になるとテレビを囲んで一家団欒。「テレビは叩けば直る」と信じられていた時代もありました。そして、アジア初の開催となった東京オリンピック。国民の 6 割相当が訪れた大阪万博。つらい過去と同時に夢と希望に満ちた…その両方の顔を持った時代。良くも悪くも自由があった時代—

節目である今年も残すところあとわずか。大切な「昭和」という時代を懐かしむ…そんなレクリエーションも準備しています。ぜひ、懐かしさを感じてください。